

## 令和元年 9 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

9 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 3 業種、前年同等が 7 業種、悪化が 4 業種で、全体の景況感 DI 値も 8 月より悪化している。

一般機器、建設業では受注、売上ともに順調であった一方、食料品、卸売業、小売業では台風に伴う天候不良等により売上が減少したとの報告があった。

山口県の中小企業では、多くの業種で深刻な人手不足が続いている。また、消費増税前の駆け込み需要はあまり見られなかったが、増税による悪影響を懸念している。

### 山口県の主要指標 DI 値（令和元年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：31.3% DI 値：▲27.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：16.3% 減少：33.8% DI 値：▲17.5% ポイント




収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：11.3% 悪化：32.5% DI 値：▲21.2% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和元年 9 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲16.7	▲11.1	0.0	▲27.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲44.4	▲75.0	▲45.5	▲0.0	14.3	0.0	▲27.6	▲27.5
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	増税に対する強い不安がある。キャッシュレス化は、組合員の年齢や店の規模で対応が異なってくる。高齢の販売員がキャッシュレスに対応できるか懸念をしている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	売上は9/23時点の累計で対前年同月▲6%前後で推移。前半は前年同等の売上げで推移したが、9/21～23の3連休の台風17号の影響で、客足が例年の半分以下に激減した。観光客比率が高まってきているため、週末の天候に業績が左右される傾向が強くなってきた。また、ケンサキイカを始め萩ブランド魚種の萩漁港での水揚げが減少しており、商材不足も業績低下の要因となっており、心配な状況。	水産食料品製造業 萩市
	10月以降の消費低迷が懸念事項。システムなどの対応が大変面倒。運送費の値上げ要求が高まり、非常に困っている。食品の値上げも続いているが、消費に結びつくかは不透明。	水産食料品製造業 下関市
	大型台風が襲来するなど地球温暖化の影響で、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。大雨による被害も続いており、突然の自然災害へ対応ができるような、農産物の売上に関する保険制度の仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。アメリカがパリ協定の離脱を表明するなど、二酸化炭素を排出しない社会づくりに厳しい状況が出ているので、電気自動車の普及対策や水素ステーションの充実などが重要になってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	前年比で発注数量が激減。業界全体的に少なく、年内の受注に不安がある。企業の営業力が重要となる。	外衣・シャツ製造業 萩市
	当月も特別な問題はなく推移している。仕事量は前年対比で1割増しで、メーカーからは増産の依頼あり。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	9月は消費税増税前の駆け込み需要があったが、10月以降の増税後が心配。	製材業・木製品製造業 岩国市
	下関市発注の公共施設建設に関する地域産材の受注があり、3社製材所による共同出荷で対応。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	期待された増税前の駆け込み需要は、期待したほどではなかった。	印刷 下関市
	9月は例年の入札案件が取れ、8月の低迷分をカバーする形で売上も前年同月比で「不変」となった。消費税増税による駆け込み需要はそれほどなく、10月からの受注に資材の増税分を転嫁できないので苦しい展開	印刷 山口市

	となりそう。	
窯業・ 土石製品	9月の出荷量は、前年度と比べると、かなり数量が減ってきている。 (平成30年9月) 骨材113%、路盤材119%、再生材79% ↓ (令和元年9月) 骨材90%、路盤材93%、再生材88%	砕石製造業
	出荷量は、前月比90%、前年同月比98%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	台風15号の被害状況には驚くばかりだが、BCPの策定をしていた事業所はどのような対応が出来たのだろうか。石材業では急ぎの流通等はないので、発電機の活用や重機による作業等の地域への対応になると考えられる。1991年の台風19号で、ある程度の対処方法は叩き込まれているが、この度の災害でBCPの必要性を改めて感じた。	石工品製造業
	いよいよ10月1日から消費税が10%となるが、増税に伴う駆け込み需要は多少あったとは言え、増税後の消費落ち込みが懸念される。当組合では、先日の全体会議でも議題に上がったが、各事業所でのキャッシュレス化の推進を計ってきており、経済産業省が進めている「キャッシュレス・消費者還元事業」もその消費落ち込みをカバー出来るものと期待し、対象事業所は登録を進めている。ギフト・卸関係・百貨店の受注は昨年同月と変わらず、萩・明倫学舎の売上げも変わらず、eショップでの売上げは減少となった。北九州市で行われた西日本陶磁器フェスタ(9月19日～23日)では、当組合員から4事業所が出店し、22日は台風接近で客入りが悪かったものの、全体としては昨年以上の売上となった。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	9月は、周南コンビナート内の各石油・化学メーカーの定期補修時期になっている為、組合員企業は関係が多く、受注量、売上高が多い月となった。	下松市
	依然として人手不足は深刻であり、外国人を含めた多様な採用形態を検討している。	周南市
	9月の業界の景況は、自動車関連が日米の協定及び米中の関係激化の影響を受けて、若干下向きの動きになりそうである。県内の大型構造物を製作する設備関係の組合員は、いずれも変わらず順調。ベトナム、マレーシアなど東南アジア関係の工事を受注の組合員は、相変わらず残業で追い込みをかけている。米・中・韓との貿易、関税などの摩擦等がいつ終息を迎えるのか気がかりである。	防府市

	<p>食肉加工、惣菜、自動車関係等の技能実習生を受入れている職種で業績は好調。但し、米中貿易摩擦の影響か、半導体関連の機械加工で業務量の減少傾向があり、11月の入国予定が5月入国にずれ込んでいる。今後、日韓の貿易摩擦も含めどの程度の影響があるか、状況の把握に努める必要がある。介護職の技能実習生については、来年1月及び3月の受入れが決定し、早期入国の要望及び増員の希望があり、来年度の準備を進めている。制度改正に伴う3号移行者の入国も順調で、即戦力として活躍している。特定技能については、登録支援機関の認可を得たので、来年2月に1期生の受入れ準備をしている。今後とも外国人技能実習生受入れは増加するものと考えている。</p>	宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両部門では輸出が一段落したが、他の案件もあり作業量が多い状況が続いている。半導体部門は高い作業量水準が継続している。産業プラント部門の作業量が少し減少気味ではあるが、全体的に作業量には恵まれている。来年の週休二日制に向け労務管理と作業効率を図るべく各社で検討中である。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>荷の動きが少ない。前月と同じ状態が続いている。</p>	乾物卸売業
	<p>鮮魚、「ふく」ともに台風の影響で入荷が少ない。「養殖ふく」は、値段が高く売れない。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>殆どの店で、9月中頃まで、増税前の駆け込みがみられず諦めていたところ、15日を過ぎてから駆け込みが増えてきたとのこと。売上は、前年同月比で微増くらいになると思われる。各化粧品メーカーも増税後の企画があるが、先の見えない状態である。段々と寒くなるので、高額商品が売れてくる。</p>	化粧品小売業
	<p>連休も多く天候不順も多かったので、全体的に家電の売上は悪かった。</p>	機械器具小売業
	<p>台風シーズンで岩国市内各地で多少の被害が出たと聞く。業務に支障が出るほどではないが、防災活動などに時間と経費をかける必要があった。この傾向は10月も続く模様である。経済全般でみれば下半期の活動が本格化してくる時期で、気候の好転にあわせて消費活動も活発化することが予想される。一方で消費税増税にかかる現場の対応は、ほぼ見切り発車となった。レジ導入は促進されず、キャッシュレス対応が僅かに進められた程度である。地域振興のプレミアム付き商品券の推進も大幅に遅れている。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>前年と比べて商店街への来客数が減ってきていると加盟店からの声を聞いている。10月は、「れとろ祭り」・「中浜市場祭り」・「時代祭り」と相次いでイベントがあるので、来客数の増加に繋がるように期待したい。</p>	各種商品小売業 下関市

	8月同様に核の衣料品店舗が退店した事により売上が大きくダウンし、前年同月比6割台となった。9月末には、酒のディスカウント店が急遽退店し、10月以降はかなり厳しい組合運営となる。	各種商品小売業 長門市
商店街	増税前のかけ込み需要の動きはあまり見えない。10月からの消費者の動向が気になる。	宇部市
	ある店舗の社長に話を聞くと、「売上は良くないが、消費税増税の関係で売上がより一層下がっていくのではないか」と言う。当商店街の場合は飲食店が少ないので8%、10%がどのようになるかの話はあまり出ない模様。「これでまた通行人が減るのでは」と嘆いている。	萩市
サービス業	10月から消費税10%になるという事で、駆け込みのカットがあるかと思っただが、あまり変化はなかった。9月初めは、多少良好であった。	美容業
	お盆の影響があると思うが、例年9月は売上が減少傾向にある。	理容業
	昨日、外国人技能実習制度に基づく3年目帰国前の外国人自動車整備技能実習評価試験を当会で実施。今年中には帰国をすることになると聞いているが、受入れた事業者にとって実習制度（給与面など）がどうか、話しを聞いてみたいところであるが、なかなか内情は話したがらない。整備業界全体で自動車整備要員の不足により雇用が難しくなる中、外国人技能実習制度に興味を持つ事業者からの相談も増えてきており、当会としても情報収集に努めなければならない。	自動車整備業
	人手不足が継続中。	スポーツ・健康教授業
	前年同月比で売上高は増加した。消費税増税前の影響もあるかもしれないが、9月中旬が涼しかったことから気温の変化によるものとみられる。また、9月後半頃から消費税増税前の駆け込み需要とみられる売上アップの組合員店舗も、宇部市、山口市ではあったもようだが、下関市、山陽小野田市はなかったのか、地域差がある。ワイシャツの11枚綴りの回数券を日頃から販売している組合員では、増税前に購入する顧客もいた模様。	普通洗濯業
	消費税増税によるJR券の駆け込み需要が増えた模様。前年同月比132%であった。	旅行業
	宿泊人員は対前年同月比で87.8%、売上は92.3%と前年割れとなった。平成29年9月からDCキャンペーンが始まり、昨年は9月14日から「花博」が開催されたが、今年はイベントがない事が一因と考えられる。	旅館業 山口市
	9月は連休等も多かったが、売上高は前年比微増であった。長門市からの俵山道路の開通、ラグビーイベント等があり、入浴者数も若干の増加となった。	旅館業 長門市

	台風によるキャンセルも今年は少なく、全体的に好調だが、人手不足が課題。	旅館業 下関市
	増税前で若干、集客人数が増えた。	飲食業
建設業	中電への工事申請144件(当支部119件)、前年同月136件(同107件)。太陽光発電への申請20件(前年32件)、オール電化申請79件(前年74件)。LED街路灯への切り替え・新設申請27件(前年16件)であった。	電気工事業
	春先からの工事量の減少が回復しつつある。技能者数の減少のため、少しの工事量の増加でも技能者不足感が強い。	左官業
	9月は連休が多く作業日数が少ないことや、暑さもあって仕事が捗らないでいる。人員不足は深刻で、特にベテランの作業員不足のため、同時に複数の仕事をこなせなくなっている。ベテランの作業員は65歳の定年で辞めてしまう。管工事の基礎教育を受けたものであっても、新人のうち掘削等の基本の仕事を担当が、キツイ仕事を嫌い直ぐに辞めてしまう傾向にある。新人2名でもベテラン1名の仕事にはかなわない。10年前頃までは建築メーカーも外国人は使用しないと約束を要していたが、今はその約束は不要となっており、外国人の雇用も考えないといけなかもしれない。発注は小規模な仕事が多いが、順調に発注がなされている。しかし小規模な発注に徳山地区の管工事業者に加え他地区の管工事業者、さらに一般土木関連業者等が入札に参加できるため、過当競争となり低廉化が進んでいる。	管工事業
	9月に入っても猛暑が続き、現場の能率はガタ落ち。事故もなく、無事にその日の仕事を終えてくれることを呼びかけている。新築物件の屋根工事においては、相変わらず瓦の採用物件が減少し、半数以上が金属屋根材を採用しており、それがまた瓦職人の減少に繋がっている。少しずつ厳しさが増している。	屋根工事業
	見積件数が少なくなっている様子。	鉄骨・鉄筋工事業
	今現在は災害工事の対応等をしている。資金面は、小型工事が多いので内容は把握できない。柳井地区では、中型、大型の公共工事が大変少ないこともあって、建設業者に雇用意欲が見られない様な気がするが、工業系高校生のインターンシップについては、かなり積極的になっている。本業の先行きが見通せないためではないだろうか。	土木工事業 柳井市
9月の受注高は、対前年同月比55.4%。今年度の累計は、対前年比86.8%。	土木工事業 萩市	

運輸業	<p>輸送関係は消費税増税前で9月末にかけて輸送量は増加したものの、車輛不足をきたし実績があまり上らず、対前年同月比約0.5%のプラス。ドライバー不足は相変わらずで解決の望みは薄い。燃料費は前月と同額。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>9月の輸送売上高は、前年同月比で若干の伸びとなる模様。しかしながら、下期の10月以降は下降基調の見通し。自動車関連は全体的に落ち込む様子。燃料費に関しては、サウジの石油施設爆破事件以降、原油価格が一時急騰したものの現在は高値ながらも落ち着いている。原油の備蓄もあり、今のところ燃料価格は急激には上昇していない。しかしながら、今後は上がることはあっても下がることはなさそうである。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>9月の物流の動きも活性化している。このところ倉庫保管案件がほとんどであったが、輸送案件の問合せや依頼も増えてきている。今まではあまりなかったが、HPを見て業務依頼の電話を掛けてくる客もあった。取り急ぎ人員不足の解消が課題である。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲6.1%（令和1年8月1日～令和1年9月20日分）。8月1日～31日分は▲7.6%、9月1日～20日分は▲3.6%。4月までは順調であったが、5月から大幅な減少が続いている。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域。8月分については、周南▲8.7%，下松▲12.1%，光▲14.0%，防府市地区が▲3.0%で、組合員の全域では▲8.6%、地区外（員外）+11.1%、合計▲7.6%（▲1,617千円）。昨年、周南市の道の駅で逃走犯が見つかった事や、花博があった事の影響もあると思われるが、得意先別の増減については、全体として大幅な減少になっているように思える。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上がり（前月357.5\$/トンが今月360.0\$/トン、前年615.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油が下がった（前月450.0\$/トンが今月381.0\$/トン、前年457.0\$/トン）。為替は円高（前月109.28円/\$が107.32円/\$）。燃料単価は前月と同額、前年8月分比は▲22.8%と下がっている。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。労働条件の改善もあり運賃改定が行なわれる予定であったが、新料金体系のとりまとめが遅れたこともあり、消費税増税分のみでの改定になる見込み。基本料金が10円増額になるが、運賃メーターの変更に車両1台当たり2万円程度必要となり、納税額も増加するので、乗務員の待遇改善や事業者の経営改善に結びつきそうにはない。</p>	一般旅客自動車運送業

	売上高は、対前年同月比としては大幅に減少したが、 昨年は、スポット的に取扱高が増えた事による要因と 思われる。	港湾運送業
その他 非製造業	先週よりパート雇用の方が1名入社。新規の技能実習申 請手続きも忙しくなり、実習開始以降の定期訪問指導 の件数も増えてきている。これからも、組合員である 実習実施者様のご負担・ご心配を軽減できるよう、皆 でサポートしていく。	介護事業